

2013年10月23日

環境経営、CSR経営に取り組まれている企業の皆様

特定非営利活動法人 環境経営学会
サステイナブル経営研究委員長 木俣 信行
経営診断推進委員長 鈴木 道彦

「サステイナブル経営診断2013」(第12回) ～ISO26000中核主題への対応状況を診る～ のご案内

拝啓 爽秋の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より私どもの学会活動に対し、ご理解とご関心をお寄せ頂き、誠にありがとうございます。

さて、私ども特定非営利活動法人環境経営学会は、2002年度から3年間にわたり、科学技術振興機構の助成を受けて環境経営評価システムを開発しました。この経営評価システムを駆使して、「環境経営格付」、「サステイナブル経営診断」などとして、昨年まで11回にわたり、持続可能な社会の構築に貢献する組織経営に取り組む企業の皆様と協働で、環境経営・サステイナブル経営評価活動を実施してまいりました。

こうした実績および学会における研究結果を積み重ねる一方、2010年11月に発行された社会的責任に関する国際的ガイドライン「ISO26000」との整合性を3年間に亘り確認をしてきました。

そこでこの度、「サステイナブル経営診断2013」の実施に当たり、「ISO26000」の掲げる「中核主題」への対応状況を中心として、その達成度合いを評価診断するためのシステムを構築中であります。

つきましては、本評価診断システムの狙いや特徴、評価体系、実施方法、活動スケジュール等をご説明致したく、説明会を開催させていただきます。

ご多用中とは存じますが、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

●「サステイナブル経営診断2013」～ISO26000中核主題への対応状況を診る～

説明会開催要領

1. 開催日時、会場、日 時:(第1回) 2013年11月22日(金) 14:00～16:00
(第2回) 2013年11月25日(月) 14:00～16:00
会 場:千代田区立「九段生涯学習館」[地下鉄 九段下駅前]
(東京都千代田区九段南 1-5-10 tel.03-3234-2841)

2. 内 容

- ・「サステイナブル経営診断2013」～ISO26000中核主題への対応状況を診る～の狙いと特徴、実施方法、活動スケジュール、費用等
3. 説明者:環境経営学会理事 経営診断推進委員会委員ほか
 4. 参加費:無料
 5. 説明会参加お申込み:上記日程のうち、ご都合のよい日を選んで、会社名、所属、氏名、連絡先をご記入の上、E-mailまたはFAXにてお申し込みください。

(申し込み先) 特定非営利活動法人 環境経営学会 経営診断推進委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-4-10-5F

e-mail: smf@smf.gr.jp、FAX 03-6272-6414、電話 03-6272-6413

「サステイナブル経営診断2013」(第12回)
～ISO26000中核主題への対応状況を診る～

募 集 要 項

特定非営利活動法人 環境経営学会
(Sustainable Management Forum of Japan)
会長 後藤 敏彦

私ども環境経営学会は2000年の発足以来現在に至るまで、企業・組織が環境対応や社会対応を十分に果たしながら発展し続けて行くには、いかなる課題に取り組まなければならないかを明確にするために、日本の第一線の企業と協働して研究してまいりました。

新しい時代は企業経営が産業革命以来経験したことのないような試練をすべての経営者に課すものです。それは大気や土壌、水の汚染対策に始まり、現在では省エネルギー、地球温暖化、人権、消費者、コミュニティ、更にはバリューチェーンの持続可能性など、きわめて多岐にわたる新しい課題を抱えているだけでなく、企業は社会環境や地球環境を改善、再生し、持続可能な社会の構築のために相応の責任を担うことを期待されるに至っております。

このような状況を踏まえ、環境経営学会では、企業・組織の経営や環境問題に関心を寄せる研究者、専門家、企業人など産学一体となって、持続可能な社会の構築に貢献する組織経営のあるべき姿を描き、これに沿った経営行動を詳細に記述し、「環境経営格付」、「サステイナブル経営診断」として通算11回、主要な企業、延べ260社の皆様との協働により経営評価を実施してまいりました。

このたび、これまでの成果や学会の研究成果に加え、2010年11月に組織の社会的責任に関する国際的ガイドライン「ISO26000」が発行されたのを機に、当ガイドラインへの対応状況を中心として、その達成度合いを評価診断するため「サステイナブル経営診断2013」を実施することとし、現在準備中でありませ

す。特定非営利活動法人である環境経営学会が、研究者、経営者や企業出身者、一般市民などの広い層からなるボランティアを統合してこのような活動をしている例は他にありません。企業・組織経営に当たられている皆様のご理解とご支援を切に期待する所以であります。

この「サステイナブル経営診断2013」～ISO26000中核主題への対応状況を診る～へのご参加企業に提供される学会の知的財産または効用は、参加パターン(下記「3」参照)によって範囲は異なりますが、全体としては次の通りです。

- ① 「サステイナブル経営診断調査票」及び「経営評価手引き」
- ② サステイナブル経営研修会への出席
- ③ エビデンス確認・評価のためのヒアリング／経営トップインタビューを通じての情報交換、質疑応答
- ④ 評価項目別評価結果と「サステイナブルマネジメント・ツリー図」及び「総合評価書」
- ⑤ ツリー図の学会公式ホームページへの掲載、環境経営学会研究報告大会での発表、公表
- ⑥ 総合評価で高い水準と評価された企業には、環境経営学会の認証マークのご使用

つきましては、環境経営、CSR経営に取り組まれておられる企業の皆様には、本学会の「サステイナブル経営診断2013」～ISO26000中核主題への対応状況を診る～に是非ご参加いただき、経営改善にお役立て頂くようご案内申し上げます。詳細は次のとおりであります。

記

1. サステイナブル経営診断活動の概要

① 経営研修会の開催(2014年1月中旬頃 東京、大阪) : 持続可能な社会の構築に貢献するために、企業に求められているガバナンス、環境問題、社会的責任への取組みの方向性、あり方に係わる経営評価システム等について、「経営評価調査表」、「経営評価の手引き」を教材に、経営研修会を開催

② 経営診断の手順:

- ・ 参加企業・組織は「経営評価調査票」と「手引き」により自己評価し、学会に提出していただく。
- ・ 企業の自己評価結果に対して、経営評価委員が、第三者として公平な立場で、企業・組織を訪問し、実地にヒアリングを行い、エビデンスを確認し、委員評価を実施する。さらに学会幹部による経営トップインタビューを実施、サステイナブル経営理念等を確認し、第1次経営評価を実施する。
- ・ 第1次経営評価結果について、妥当性・公平性・公正性を担保するために、判定委員会で審査して最終評価・診断を決定、「サステイナブルマネジメント・ツリー図」に表現する。
- ・ サステイナブル経営「総合評価書」を作成、ツリー図と共に参加企業にご報告する。

③ 結果の公表

経営診断参加企業の取組み状況について広く社会全体に周知するために、原則として公表し、学会ホームページ上にサステイナブルマネジメント・ツリー図を掲載する。企業のCSRレポートなどに掲載も可。

2. 「サステイナブル経営診断2013」～ISO26000中核主題への対応状況を診る～の概略スケジュール

2013年10月 : 参加企業募集開始

11月 : 説明会(11月22日(金)午後、11月25日(月)午後 の2回)

2014年1月 : 経営研修会開催(1月中旬頃、東京、大阪にて各1回開催予定)

1月 : 参加パターン(タイプⅠ、Ⅱ、Ⅲ)の決定、参加企業の自己評価開始

2月末 : 自己評価調査票提出締め切り

3月 : 学会の経営評価委員による分析、ヒアリング、経営インタビュー

4月 : 経営評価委員による経営評価終了、判定委員会始動

4月下旬 : 経営診断結果の企業への通知/異議申し立てにより提訴委員会始動

4月下旬 : 経営診断結果確定、3点セット(総合評価書、最終調査票、ツリー図)ご報告

5月～6月 : 学会年次研究報告大会において結果発表/活動終了

(具体的な日程については、参加企業各位と調整の上、決定)

3. 参加パターンと参加費

経営診断活動については学会会員を中心としたボランティア活動として進めますが、旅費、通信費、印刷費など活動の原資としての次の参加費を申し受けます。

・タイプⅠ : 経営診断のフルメニュー参加(①経営研修会、②全評価項目評価/診断、③経営評価委員によるヒアリング、インタビュー等、④3点セットのご報告)

: 参加費20万円

・タイプⅡ : 経営診断の部分メニュー参加(①経営研修会、②企業の選択する項目の評価/診断、③経営評価委員によるヒアリング、インタビュー等は任意、④ツリー図を除きご報告)

: 参加費15万円

・タイプⅢ : 経営研修会のみ参加(教材として、「経営評価の手引き」等経営診断ツール使用)

: 参加費5万円

— 以上 —